

11月はロータリー財団月間です

R I 第 2820 地区

THE WEEKLY REPORT

水海道ロータリークラブ



2006 - 2007年度 テーマ

心の中にロータリーを

地域と共に

2006-07 年度 国際ロータリー会長
ウィリアム・ビル・ボイド

次回例会予定

11月 15 日 外部卓話

VOL. 44 No.17 (通算No. 2100)

2006年 11 月 8 日(水)例会プログラム

点鐘

ロータリーソング・四つのテスト

ビジター紹介

出席報告

S A A 報告

諸報告

幹事報告

会長挨拶

外部卓話

筑波大講師 安達様



2006 - 2007年度

会長 松村 仁 寿

幹事 青木 正 弘

創立 1963年9月25日

例会場・例会日

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30 ~ 13:30 0297-22-1251

事務所

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

11月はロータリー財団月間です

例会報告 Vol 44 No.16 (No.2099) 11月1日(水)晴れ (司会倉持功典委員長)

本例会での主な事項

会長挨拶 松村仁寿会長
会員卓話 北村 仁会員

誕生祝



会員 松村仁寿会員 北村英明会員 関根 淳会員 長塚 暁会員 草間春正会員 中川莞爾会員
青木正弘会員

配偶者 中川会員 隅屋会員 登坂会員 倉持会員

諸 報 告

雑誌委員会 (福田克比古委員長)

ロータリーの友 11月号の紹介を致します。

横組 P1 RI会長のメッセージ

P5 ~ 特集 ロータリー財団

P28 ~ クラブ会長

ご一読下さい。

縦組 P2 ~ 世界を横につなぐ

P19 友愛の広場 戦艦大和の最後

P21 人生長寿を望むには

親睦活動委員会 (北村英明委員長)

クリスマス会のご案内

12月9日(土) 18時より つくば市 葡萄の実 レストラン キコドゥーバ

詳細につきましては、後日お知らせいたします。

プログラム委員会 (石塚克己委員長)

11月8日、15日の例会は、ゲストが多いので先に食事を済ませ、12時35分頃より例会を開催したいと思います。本日皆様にFAX致します。

幹 事 報 告 (青木正弘幹事)

週 報 受 理 なし

例会変更通知受理 なし

ザ・ロータリアンが届いています。回覧いたします。

会 長 挨 拶 (松村仁寿会長)



11月はロータリー財団月間です



皆さん、こんにちは。

1917年、アトランタで開催された国際大会で、RI会長アーチ・クラフの提唱によって、「人間を育てる教育のための奉仕基金」アーチ・クラフ基金が創設されました。同年創立されたライオンズクラブの募金活動に刺激されたとも考えられ、何の根拠もなく極めて唐突であったため、募金も思うように集まらず、最初に寄せられた寄付金は、その翌年カンサスシティで開催された国際大会の余剰金26ドル50セントであったといわれています。1923年、関東大震災に際して

ロータリー財団から多額の義援金が寄せられたという説に関しては、当時基金にはそんなに多額の金が集まっていたとは考えられず、RI本会計の中に当時からあった災害援助金から支出されたと解釈する方が妥当かも知れません。

1928年ロータリー財団となり、1931年、信託宣言がなされましたが、国際間の緊張が続いた時期のためか、これと言った活動記録は残っていません。1945年、第二次世界大戦終了に伴って、高等教育のためのロータリー財団奨学金制度、各国の国民の間に国際理解と友好関係を進めることを目的とした、確実に効果的なプロジェクトの育成、戦争や災害により、破壊や損害を被ったロータリアンと家族のための緊急時の、救済方法の準備を目的として本格的な活動が開始されました。

ロータリー財団奨学金制度が始めて実施されたのは1947年であり、ポール・ハリスの逝去を機に寄せられた\$371,143の寄付金を基に、18名の大学院生に奨学金が支給されることになりました。当初は、高等教育を受けさせるための奨学金制度として発足したのですが、1959年からは国際理解と友好を深めるための奨学金とその目的が変更されました。1964年からは博愛、慈善に、さらに1984年からは人道的なプロジェクトが加わり現在に至っています。

会 員 卓 話 北村 仁会員 会長時代を振り返って



会長時代の思い出を語れと言う事ですので、大分時間が経っておりますが当時を思い起こしながらお話を進めたいと思います。また、今月はロータリー財団月間ですので時間がありましたらお話したいと思います。

就任年度は1992 - 1993年(平成4 - 5年)であり、当地区が2550地区(栃木、茨城)より分かれて、第2820地区として誕生して初めての年度でありました。幹事には染谷昭次郎さんを自分一人でお宅に訪問し、諸々のお話をし、就任をお願い致しました。私より遥かに年長者でいらしたので何かと相談をさせて頂き、女房役というよりゴルフを含めて全てに亘って先生でありました。大変お世話になりました。残念ながら退会をされまし

たが、ご子息の染谷正昭会員が入会され現在活躍をされておられます。

地区の方はどちらかというと何事も第2550地区が本家で、第2820地区は分家というような感じがしており、地区の活動のかなりの部分が共同で行われており、新しい門出という喜びより不安のほうが強かった感じが致しました。新生第2820地区初代ガバナーは、水戸の山縣健三さんで大変温厚な人格的にも素晴らしい方で、ロータリーを良く勉強されており、この時期我々クラブ会長としては大変心強く頼り甲斐のあるガバナーであったことを思い出します。ガバナーユニフォームの真紅のブレザーに身を包んで会長幹事会などに姿を見せられた時には度肝を抜かれたものです。しかし、ある時「北村さん、本当はこれは恥ずかしいんだよ」と苦笑いをされておられました。熱心にロータリーを語られ多くのことを教えていただきました。残念なことに早く他界されたことは我々同期のクラブ会長としては痛恨の際でありました。私がガバナーを仰せつかり行動するとき、常に山縣パストガバナーは大きな星でありました。

RI会長は、クリフ・ダクターマンという方で、テーマが「真の幸福は人助けから」でありました。なんと解りやすいテーマであると思いましたが、その奥にある意味をガバナーより説明を受けRIのモットー「よく奉仕す

11月はロータリー財団月間です

るもの、最も良く報われる」と全く相通ずるものである事を理解いたしました。

クラブのサブテーマは「全員参加のロータリー」とさせていただきます。ともすればクラブ役員、地区役員だけのロータリー活動となりがちなことから、一人でも多く全ての活動に参加をお願いし、ロータリアンである事を実感していただきたいとの思いからでありました。当年度は、クラブ創立30周年にあたり、その式典を行う予定になっております事も大きな要因でした。

その30周年記念式典も5月23日地区内の大勢のロータリアンの参加を得て、片倉 力実行委員長の下に守谷町の日本火災研修センターにて大変な盛会の内に挙行されました。記念事業には、市内在住の彫刻家石塚輝雄先生のブロンズ像を市立体育館玄関に寄贈いたしました。像の台石に刻まれた「雄心」の文字を会長が書く事になり大いに苦労した事を思い出されます。

振り返って見ますと、第2820地区初代の水海道ロータリークラブ会長、そして30周年記念事業における会長と、クラブの皆様にご助けていただきながら大変多くの思い出や貴重な体験をさせていただきました。

この恩に報いるためにも、ロータリアンらしいロータリアンになるよう努力致したいと思っております。

出席報告 (橋本忠昭委員)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
48名	36名	12名	0名	8名	91.67%

ニコニコボックス (登坂 寛SAA)

入金計 ￥93,000 累計 ￥946,000

誕生祝御礼 会員 中川・松村・北村(英)・関根・長塚・草間・青木(正) 各会員

配偶者 中川・隅屋・登坂・倉持 各会員

11月となりました。今月も宜しく。北村 仁会員卓話を宜しく申し上げます。 松村会員

あっという間に4ヶ月が過ぎました。残すところ8ヶ月、宜しく申し上げます。 青木(正)会員

今年も後2ヶ月になりました。 大串会員

茨城医学会総会において、学術・地域医療功労者表彰をうけました。 鈴木(邦)会員

今日の空は、私の心のようにです。 小島会員

ロータリー財団月間です。宜しく申し上げます。 松崎会員

北村 仁会員 卓話宜しく申し上げます。会長時代のエピソードなど聞かせてください。 石塚(克)会員

北村バスターガバナーの卓話宜しく申し上げます。 石塚(利)会員

写真頂きました。 染谷(秀)会員

例会欠席しました。 田中・鈴木(豊)・角田・海老原・横山・福田 各会員

会報委員会 委員長 角田雅宣 副委員長 北村 仁 委員 山崎善市

